



2021年6月29日

<イベント概要> 一般社団法人日本パラリンピアンズ協会

【開催日時】

2021年7月4日(日) 14:00~16:00

【形式】

完全オンライン (Zoom ミーティング+Youtube ライブ)

【実施内容】

- (1) 主催者あいさつ 大日方邦子 (PAJ 会長)
- (2) 第1部「パラリンピック初出場有力選手に聞く」
水田光夏 (射撃)、柳本あまね (車いすバスケットボール)
川村 怜 (5人制サッカー)、山崎晃裕 (陸上競技・やり投げ)
- (3) 休憩
- (4) 第2部「パラリンピック出場経験者の東京大会への思い」
木村敬一 (水泳)、岩渕幸洋 (卓球)
上山友裕 (アーチェリー)、秦由加子 (トライアスロン)

■視聴について

ライブ配信は、PAJ 公式 YouTube チャンネルからご視聴いただけます。

<https://www.youtube.com/channel/UCXyPmSqZgry90UC-yKN0Bsg>

■一般社団法人日本パラリンピアンズ協会 (PAJ) について

日本パラリンピアンズ協会 (PAJ) は、パラリンピックに日本代表として出場した経験のある選手有志による選手会です。2003年に発足、2010年に法人格を取得し、一般社団法人となりました。パラリンピアンズ同士が繋がり、国内外のスポーツ団体、アスリートたちと連携しながら、誰もがスポーツを楽しめる社会の実現に向けて活動しています。会員数=139名 (2021年6月時点)

■パラ知ル! について

PAJの活動をまとめて表現する愛称が、「パラ知ル!」です。「パラリンピアン自身がパラリンピックのことをよく知ろう!」、そして「もっとたくさんの人たちに知ってもらおう!」という意味を込めて名付けました。

■パラ知ル! FIT について

FIT チャリティラン (外資系金融企業を中心としたランニングイベント) からの寄付金を活用して、PAJが2017年から実施している講師派遣事業で、以下のような特徴があります。

- ・講師派遣にかかる費用をPAJが負担する
- ・複数のパラリンピアンによるクロストークを重視する
- ・講師を務めるパラリンピアンの育成にも活用する

2019年までの3年間 (2020年は休止) に、11カ所で開催しました。



■登壇アスリート紹介

【第1部】パラリンピック初出場有力選手



水田光夏 (みずた みか) 《射撃》

1997年、東京都出身。白寿生科学研究所所属。19歳から競技を始め、2017年の全日本選手権で初出場2位。2019年世界選手権で東京2020パラリンピック日本代表に内定した。2019年から全日本選手権2連覇中。どんな時でも緊張しないことが強み。



柳本あまね (やなぎもと あまね) 《車いすバスケットボール》

1998年、京都府出身。あいおいニッセイ同和損害保険株式会社所属。2歳の頃に原因不明の病気により、下肢に運動障害が生じ、歩行困難となる。小学校6年生の頃から本格的に競技を始め、2014年高校1年生の時に日本代表選手に選出。以降、代表チームの一員としてほぼすべての大会に出場を果たしている。



川村 怜 (かわむら りょう) 《5人制サッカー(ブラサカ)》

1989年、大阪府出身。パペレシアル品川所属。アクサ生命保険株式会社勤務。2013年さいたま市ノーマライゼーションカップで日本代表デビューし、世界王者ブラジルから初ゴールを奪う。Santen IBSA ブラインドサッカーワールドグランプリ 2021 in 品川準優勝。アジア選手権 2019 第3位。得点力と豊富な運動量でチームを主将として牽引する。

NO IMAGE

山崎晃裕 (やまさき あきひろ) 《陸上競技・やり投げ》

1995年、埼玉県出身。順天堂大学さくらキャンパス所属。右手首欠損の先天性障害を持つ。高校まで野球部に所属し、大学から障害者野球を始めて世界大会で準優勝、優秀選手にも選出された。2015年、パラ陸上のやり投げに転向。短期間のうちに順応し、2017年には当時の日本記録を樹立した。その後も記録更新と好成績を重ね、国内外の大会で活躍している。



■登壇アスリート紹介

【第2部】パラリンピック出場経験者・東京大会出場有力選手



木村敬一 (きむら けいいち) 《水泳》

1990年、滋賀県出身。東京ガス株式会社所属。先天性疾患により、2歳で視力を失う。10歳で水泳を始める。過去3回のパラリンピックで、銀・銅メダルを3個ずつ獲得。東京2020パラリンピック出場内定。



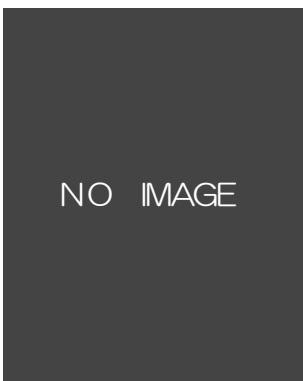
岩淵幸洋 (いわたち こうよう) 《卓球》

1994年、東京都出身。協和キリン株式会社所属。両足首に先天性の障害。左足に装具を着けプレー。中学一年時、部活動で卓球部に所属したのを機に始める。中学3年時、コーチの誘いでパラ卓球と出会う。東京パラでは“金メダル以上”を目標に掲げ、パラ卓球の魅力発信なども意識しながら競技に取り組む。



上山友裕 (うえやま ともひろ) 《アーチェリー》

1987年、大阪府出身。三菱電機株式会社所属。大学入学からアーチェリーを始める。2011年から両足に麻痺が現れ始め、2012年よりパラアーチェリー大会へ参加。前回のリオパラリンピックでは7位入賞、東京パラリンピックでは金メダル獲得を目指す。



NO IMAGE

森 由加子 (はた ゆかこ) 《トライアスロン》

1981年、千葉県出身。キヤノンマーケティングジャパン所属。13歳で骨肉腫を発症し、右脚を大腿部より切断。26歳でパラ水泳への挑戦を開始した。アジアパラ大会などに日本代表として出場した後、2013年からトライアスロンに転向。2016年のリオ・パラリンピックに初出場を果たし、6位入賞を記録した。現在は競技中心の生活を送り、東京パラリンピックで表彰台を目指す。